

## 法学検定試験・公務員試験で大健闘

### ◆ 2022年度法学検定試験ベーシック、スタンダードの合格者数 全国1位

2022年度法学検定試験<sup>(注)</sup>において札幌学院大学法学部はベーシックコースで121名、スタンダードコースで64名の合格者を出し、いずれも**合格者数全国1位**となり、2023年3月6日に団体賞の表彰を受けました。ベーシックは**2年連続の表彰**です。法学部では、この法学検定試験と必修の講義を連動させ、1年次から法学の基礎をしっかりと学びます。ベーシック合格者に、さらに上位のスタンダードに挑戦する指導を行っており、今回の成果となりました。このように1年次からステップ・バイ・ステップで着実に実力をつける取組みを行っています。



スタンダード（中級）コース表彰状

注) 公益社団法人商事法務研究会法学検定試験委員会が実施する法学全般に関するわが国唯一の検定試験で、ベーシック（基礎）コース、スタンダード（中級）コース、アドバンスト（上級）コースの3コースで実施している。

### ◆ 公務員試験合格者数 4年連続 30名以上

札幌学院大学法学部の公務員試験合格者数（延べ）は2019年度から、32名、38名、37名、35名と**4年連続で30名を超え**ています。

今年度の内定先は、国立大学法人職員、北海道職員、市町村職員、警察官など、多岐にわたっています。公務員内定者の体験談では、法学検定試験のための勉強が、実際の試験に役立ったという声がありました。1年次からの着実な学びの成果が、進路実績として実を結んでいます。札幌学院大学法学部では、公務員をはじめ多様な進路に応えるための学習プログラムを整えています。

公務員合格実績(2023年3月卒業生)

国家公務員一般	1
北海道職員（一般行政）	3
北海道職員（教育行政）	1
北海道職員（警察行政）	2
道内市町村（一般事務）	7
道外市町村	1
北海道警察	7
他都府県警察	4
自衛隊（幹部候補生2名含む）	6
北海道教員	1



# 合格者体験談

合格者が後輩たちのために書いてくれた合格体験談です。後輩たちへのアドバイスを中心に一部を抜粋・編集して紹介します。

## 公務員試験

### Aさん 国家一般職（北海道開発局）

公務員試験はとにかく長い。特に国家一般職は専門科目が多すぎる。途中で心も折れそうになるが、道庁や道警、市役所などに比べ倍率が低く、試験で頑張ったらなりやすいのも国家一般職ではないかと思う。専門科目と数的・判断を頑張れば意外といける。大学の講義で公務員対策特別演習は全部出た方がいい。数的処理とかを授業で学ぶことができる。また、法学検定の知識も役立つから必ず取っておこう。あと、民法や憲法、行政法など授業がある科目は絶対出よう。他の受験生と差がつくチャンスである。筆記さえ受ければ2次では普通に受け答えをすれば合格できる。官庁訪問は期間が短く集中するのでスケジュール管理と体調管理が大切である。時々休みながら自分のペースで頑張してほしい。

### Bさん 北海道職員（一般行政）

就活中上手くいかない、焦っているなと思ったとき必ず「完璧主義にならないこと」、「相談すること」の2つを心掛けるようにしていました。完璧にできていないから次に進まないのは時間がとももったいないことでした。最初からうまくはいきません。不格好でもやっていくうちに何事も形になっていきます。また、就活は一人で乗り越えられるものではありませんでした。「こんなこと相談してもいいのかな?」、「みんなはスマートに一人でこなしているのではないだろうか?」など、就活をしていると周りが優秀に見え自分がみじめに感じることもありましたが、相談をしてみじめに感じたことはありません。ひとりで抱え込まず周りに相談し自分なりのペースで就活を進めていけば道は開けると思います。がんばってください。

## 法学検定試験スタンダード

### Cさん（現3年生）

9月下旬に、あきらめたくなかったのですが、「最悪、今年の経験を活かして、来年また挑戦しよう」と考えるようになりました。それから、勉強に集中できるようになって、わからない問題の時もイライラしなくなりました。法学スタンダードスキルの授業も始まっていたので、授業で教えてもらった知識を生かすことが少しはできたのか、テキスト2周目は1周目よりも正解することができるようになっていました。法学検定試験本番まで約1か月になったら、昼休みの時間などにも、テキストを読み続けました。私は本来、ノートに書く方が知識を定着させやすいので、定着するのに時間がかかりました。勉強は大切ですが、自分の体調を第一優先で生活してください。

### Dさん（現3年生）

試験が近づいた頃からテキストを一日20頁前後読むようになり、問題文と解答解説の箇所を熟読しました。ひたすら問題集を読み込むことに集中しました。頭が痛くなって読むスピードが落ちてきたときは休憩を取りました。頭がすっきりして気持ち良い状態の方が学習もはかどるので、とくに家にいる場合は仰向けになって頭を枕につけて適度に休ませてから再び問題集に取り掛かりました。試験前のおおよそ1か月は問題集を読んでは休んで、を繰り返して、試験当日の朝は早めに大学内に入って、最後の仕上げとして軽く全体的に問題集に目を通しました。試験開始のその4時間ぐらい前から大学に来て最後の復習をしました。私の勉強方法は特別なものではなく単純に問題集を読み込むこととその間に休憩をはさむのを繰り返したことです。

## 法学検定試験ベーシック

### Eさん（現2年生）

試験の二か月前くらいまで、講座を受講し講師の話を聞いているだけ日々を過ごし、いざ問題を解こうとするとさっぱりわからず、焦りと不安な気持ちでいっぱいでした。そこで、試験日から逆算して一日に問題集の30ページだけを完璧に覚えようと目標を決め、翌日にその勉強した30ページを復習し、間違えたものは、その翌日にもう一度解くという反復練習を大切にしました。また、「確実にできるところを増やす」という勉強方法で試験当日まで取り組みました。試験一か月前からは、とにかく問題集をひたすら解き、試験当日は、十分な試験対策を行ったことで落ち着いて試験に臨むことができました。同じ目標に向かって頑張りあえた仲間、そして講師の先生の熱心なご指導のもと、最後までやり抜くことができました。法学検定ベーシックを通して、一つの目標に向かって頑張る力、そしてやり抜く力を育むことが出来ました。合格への近道は、コツコツと続けることです。

# 目指すのは“充実した学び”

## 2021年4月からスタートした新カリキュラムの特徴

### ◆ 1年次から法学系の基礎科目及び法学検定ベーシックの学習を開始

1年次には「学部コア科目」、つまり法律学の根幹をなす科目である憲法、民法、刑法を学習するとともに、「法学ベーシックスキル」の履修を通じて法学検定試験ベーシックにチャレンジし、「ステップ・バイ・ステップ」で着実な資格取得への第一歩を踏み出します。また、「キャリアデザイン科目」の1つであるエキスパートゼミナールAでは「公務員として働くことの意味」について学びます。

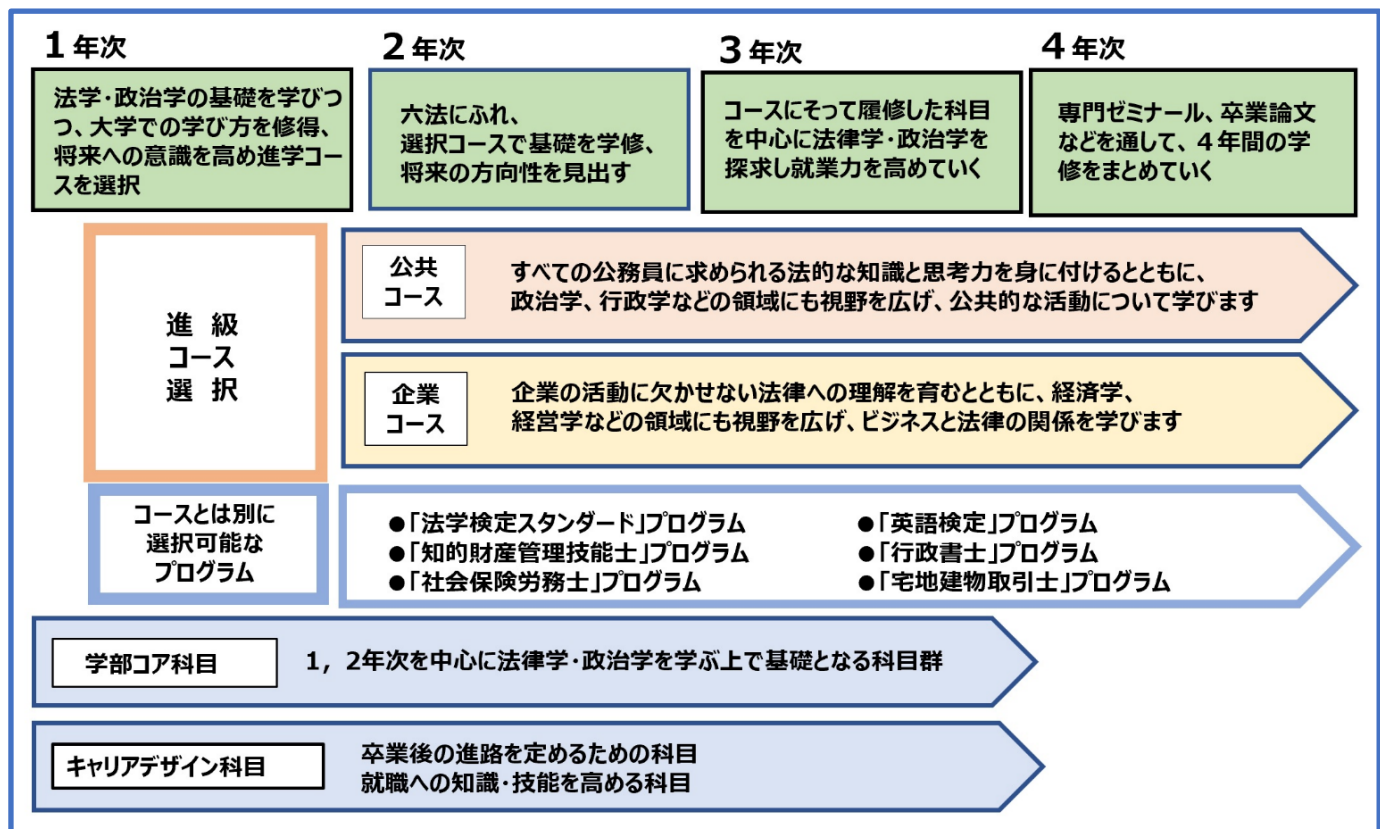
### ◆ 2年次には公務員対策特別演習や各種ゼミナールにより専門性を磨きます

2年次には、公務員採用試験専門の学校などと連携し「公務員対策特別演習 A・B・C・D・E」を開講します。より具体的な公務員の職種（警察官など）のためのエキスパートゼミナールB・Cやより高い専門性を身につけるためのアドバンストゼミナールが開講されます。資格取得の次のステップとして法学検定スタンダードの合格を目指します。

### ◆ 3年次には各々の進路に応じた就業力を高めます

3年次には、選択したコース(公共コース、企業コース)における重要科目を中心としつつ、法学・政治学の学びを深めます。2年次に引き続き就業力を高めるために、「公務員対策特別演習 F・G・H・I」、職業と人生、インターンシップ関連科目などが開講されます。

## 4年間の学びのイメージ図





# 公務員試験合格に向けた法学部独自の支援体制

## ◆ 公務員対策特別演習ガイダンスの実施

2022年度から、新カリキュラムの科目「公務員対策特別演習」がスタートしました。開講科目は2年次に5科目（公務員対策特別演習A・B・C・D・E）、3年次に4科目（公務員対策特別演習F・G・H・I）あり、充実した内容になっています。体系的に学ぶことができるように、履修に先立ち担当教員よりガイダンスを実施しています。（写真1）。



写真1 公務員対策特別演習ガイダンス



写真2 模擬面接の様子

## ◆ 模擬面接の実施

公務員採用試験1次合格者には、元公務員の方の協力を得て、職種別に模擬面接を実施し、“面接力”アップを図っています。警察官、地方公務員行政職に加え、消防官についても模擬面接が実施されています。学生たちは、本番さながらの緊張感の中で模擬面接に臨んでいます（写真2）。

## ◆ 自習室の開放

法学部では、公務員試験及び各種法律系資格試験に挑戦する学生をサポートするため、最新版を含めたこれらの対策問題集を常備した自習室が開放されています。複数人の学生が、毎日のように自習室で勉学に励み切磋琢磨しています。法学部の良好な公務員試験合格率を支えている要因の一つとして、この自習室を数えることができるでしょう。法学部は、夢に向かって努力する学生のための環境整備を惜しみません。

